



所沢市民放射線測定室「とこらぼ」ニュースレター2018年4月

発行:とこらぼ運営委員会

メールアドレス tokolabo2013@gmail.com ホームページ <http://children-foundation-tjimdo.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/tokorozwahousyasensokuteijo>



いつも「とこらぼ」にご支援いただきありがとうございます。東日本大震災&原発事故から7年目を迎えました。直後に小学校に上がった娘は、もう中学生になりました。何を食べるか、何を選ぶか、様々な決断をしていかなければならない時間は、まだ当分続きそうです。測定という具体的な数値を通して、皆様の判断のお役に立てれば幸いです。今後もご協力よろしくお願ひします。



●最近の測定結果 2017年12月～2018年2月

<米>

新潟県長岡市産白米と埼玉県久喜市産白米は不検出でした。
所沢市産玄米は ^{137}Cs が 1.76Bq/kg でP(ピーク)を検出しました。

<果実・鮮魚など>

もち(サトウの切り餅)と所沢市産卵は不検出でした。
宮城県産サメは ^{137}Cs が 1.89Bq/kg で、P(ピーク)は検出ませんでした。
埼玉県入間市産柚は ^{137}Cs が 1.94Bq/kg で、P(ピーク)は検出ませんでした。
埼玉県産抹茶は ^{137}Cs が 2.93Bq/kg で、P(ピーク)を検出しました。



卵の測定

<きのこ(茸)>

宮城県産乾燥椎茸は不検出でした。
群馬県下仁田町産乾燥椎茸(菌床栽培)から ^{137}Cs が 26.7Bq/kg で、P(ピーク)を検出しました。

<土壌・堆肥など>

所沢市航空記念公園の6カ所の土壌は ^{137}Cs が 47.6Bq/kg から 8.97Bq/kg 検出されました。
くぬぎ山では ^{137}Cs が 204Bq/kg 検出されました。
所沢市の田んぼでは ^{137}Cs が 35.0Bq/kg 検出されました。
所沢市中新井の畑では ^{137}Cs が 33.4Bq/kg 検出されました。
くぬぎ山の落ち葉からは ^{137}Cs が 33.1Bq/kg で、P(ピーク)は検出ませんでした。
所沢市中新井の薪ストーブの灰からは ^{137}Cs が 293Bq/kg 検出されました。

【公開測定】以下の測定を行いました。(結果は上記参照)

<12月14日(木)>・柚(入間市産)・サトウの切り餅

<1月11日(木)>・卵(所沢産)

<2月22日(木)>・サメ(宮城県産)

【測定結果より】

埼玉県産抹茶からは今回も ^{137}Cs を検出しました。茶葉をそのまま食べる場合は気をつけてください。

椎茸の原木栽培は産地によってまだまだ検出されています。そこで菌床栽培の椎茸を測定しましたが今回の乾燥椎茸から検出しました。乾燥することにより濃縮するため同じ物を生で測定していたら不検出になった可能性はあります。

公園・畑・田んぼの土壌からは ^{137}Cs を数十 Bq/kg 程度検出します。雑木林内の土壌や薪を燃やした灰の中からはまだ多くの放射性物質を検出します。この量は ^{134}Cs の半減期による減少がわずかになり今後大きく変化することはないでしょう。乾燥時の風により舞い上がる土埃などに今後も注意が必要と思われます。

● 5周年とこらぼまつり

1月21日「とこらぼまつり」を開催することができました。5周年を記念して「福島 生きものの記録 シリーズ5～追跡～」の上映会と岩崎雅弘監督(77)のお話会に約40名の方が参加してくださいました。

シリーズ5では、今までの調査グループの他に「つくば国立研究所」「NPO法人たらちね」の活動も紹介されました。「つくば国立研究所」の堀口敏宏さんは震災前からイボニシの調査を継続しています。「たらちね」は福島県内でのホールボディカウンター・甲状腺検診を実施し、また、福島沖の海洋調査を実施しています。野生動物の内部外部被ばくの驚くべき数値が画面に公表され、今後の継続調査から目が離せません。

監督のお話は、ご自身が動物ドキュメンタリーを撮ることになった経緯から始まりました。野生動物を撮影する中で環境問題との関わりは避けて通れなかったそうです。引退が頭をよぎった時に起きた311の原発事故。自分にはできることは何かと考えた末、やはり野生動物の姿を残すことを決断し、2012年から福島での撮影に通われています。

監督は実に淡々としたお話ぶりで、自分ができていることをやっているという姿勢にとても心を動かされました。現在体調を少し崩されていますが、体調回復に努め、体力と資金の続く限り続編の製作に意欲を燃やしていらっしゃいました。

以下、参加者からの感想です。

・映画も良かったですが、岩崎監督の話が分かりやすくて感銘を受けました。「ぼくにできることは何か」という原点に立って地道に撮られていますね。「続けて行かないと意味が半減する」とも言われました。「とこらぼ」もずっと続けてくださいね。応援しています。

・自然界での放射能の循環について改めて考えさせられました。くぬぎ山でも同様の現象があるように思われます。

・放射能は改めて恐いです。マスコミはもっと関心を持って報道して欲しいです。国はもっと関心を持つことが大事です。監督のお話も聞いて良かったです。野菜も買ったので良かったです。



とこらぼ祭り終了後、
監督を囲んでのスタッフお疲れ様会

【とこらぼ利用者の声】

毎年キノコの測定に利用していただいている鶴谷恵子さん(西多摩郡在住)に投稿していただきました。

私は趣味で採っているキノコの測定でとこらぼさんにお世話になっている主婦です。親戚が福島にあり原発事故が身近なので投稿させて頂く事になりました。

…突然ですが皆様は今、何をなさってますか？お食事中ですか？仕事中ですか？

H23年3月12日それは起こりました。役場の車が必死の叫びで呼びかけます。

「今すぐ逃げろ！とにかく遠くに！原発が爆発するー！」

『え？子どもは学校、夫は会社、どうしよう』などと迷う暇はありません。原発周辺の住民は被曝の怖さを知っています。極端ですが東海村臨界事故の犠牲者の様になりたくないという恐怖が過ぎります。役場職員の尋常じゃない様子に事の重大さを悟った住民は、とりあえずエプロンのまま、サンダルのまま文字通り「着の身着のまま」あてもなく、ただ夢中で車を走らせます。

…結局あの日逃げたまま今年で7年が経ちました。あまりに突然の、日常や愛するペット・自然の恵み全てとの別れです。自宅は近寄れない数ヶ月の間に雑草に覆われ野生動物に荒らされました。でも恐ろしいのは物を失うことだけではありません。目に見えない、匂いもない放射性物質に対して人々の関心が無くなっていくことです。動植物、自然の中で、どこかの値が少なくなっても、どこかで濃縮されている…人間も自然の一部です。

どうか今も続いている福島悲劇、人が生み出した悲劇を忘れず世界中で繰り返さないで欲しい。とこらぼさんの活動からは、いつもそんなことを考えさせられています。



◎「とこらぼ」では以下のような業務をお手伝いしてくれる方を随時募集しています。

測定スタッフ//測定補助・受付手伝い//公園土壌調査プロジェクトスタッフ//公開測定メンバー

ご自宅やご自宅周辺でできる作業もありますので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

メール: tokolabo2013@gmail.com

電話: 080-6257-2306